

ECAM22022 EASY INSTRUCTION CARD-1

size : A4 : W210mm×H297mm
color : 2C : Black , PANTONE254C

K100 C100 (PANTONE254C)

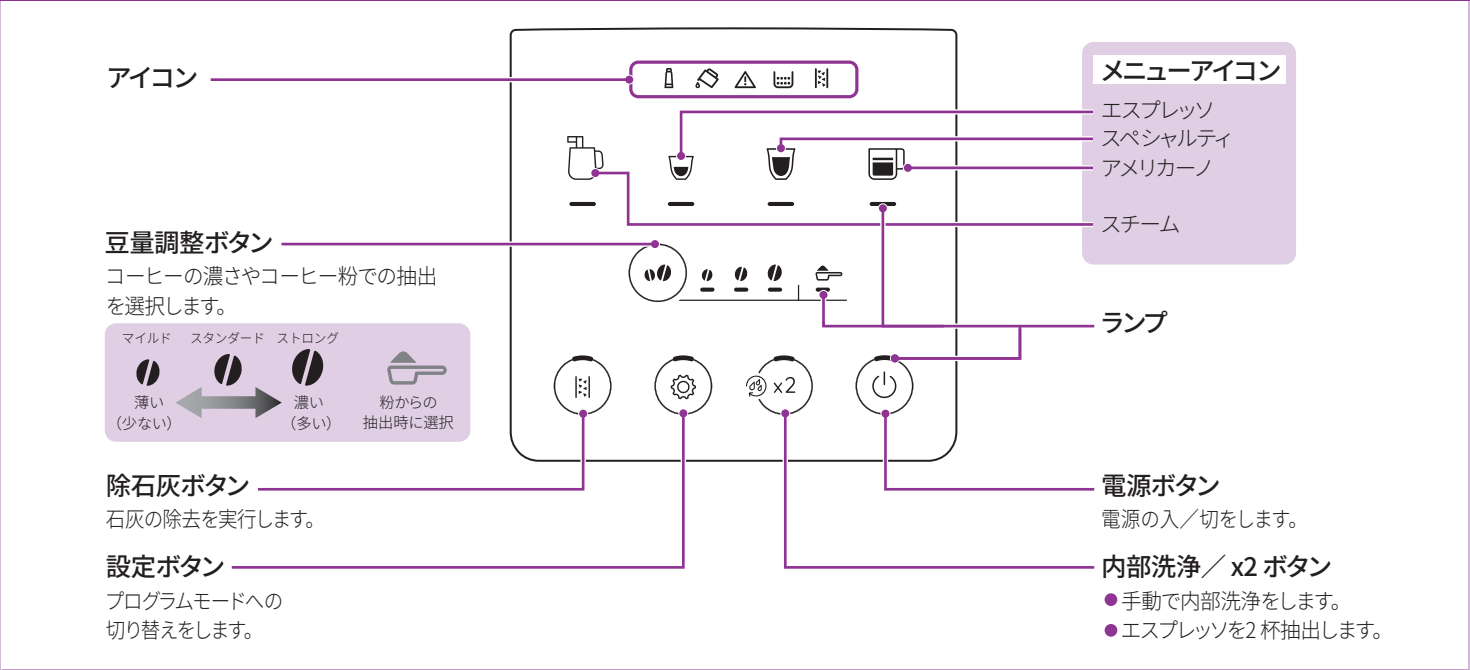


全自動
コーヒーマシン

ECAM22022簡単ガイド

取扱説明書内「安全上のご注意」、操作手順およびお手入れ方法をよくお読みになった上で正しくお使いください。
初めてお使いになる場合は、必ず空気抜きと内部洗浄を行ってください。(取扱説明書12、14ページ)

■ コントロールパネル (取扱説明書11ページ) ■



■ コーヒーの抽出 (豆を使う) (取扱説明書17ページ) ■

1 コーヒー豆を豆ホッパーに入れ、水を入れた水タンクを取り付ける

2 カップ受けにカップを置き、抽出口を下げてカップに近づく

[1杯の場合] [2杯の場合]

3 豆量設定ボタンを押して豆量を設定し、メニューアイコンのいずれかを押して抽出する

- コーヒー豆から抽出するときは 粉からの抽出 の設定はできません。
- ※ 初期設定はスタンダードです。
- ※ 設定は次の抽出でも保存されます。

■ ミルクの泡立てかた (取扱説明書19ページ) ■

1 ミルクフロッサーを外側に向け、ミルクフロッサーの先端が牛乳に浸かる程度にミルクジャグを差し込む

2 蒸気ボタンを押し、蒸気ランプが高速点滅したら、スチームノブを「I」の位置まで回し、牛乳を泡立てる

3 お好みの泡ができたらミルクフロッサーを牛乳に差し込んだままスチームノブを「O」の位置に戻す

[カプチーノ]

エスプレッソを抽出し、泡立てた牛乳をエスプレッソに注ぐ

簡易洗浄 (毎回使用後)

手順1～3を牛乳ではなく、水を使って行ってください。
10秒程度を目安にスチームを出して、フロッサーを洗浄します。

裏面もお読みください

ECAM22022 EASY INSTRUCTION CARD-2

size : A4 : W210mm×H297mm
color : 2C : Black , PANTONE254C

K100 C100 (PANTONE254C)

ご使用になる前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

■ アイコン表示 (取扱説明書34ページ) ■

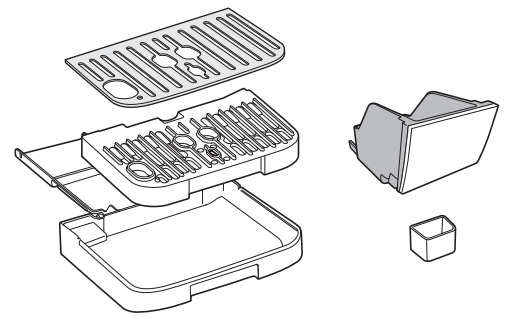
 点灯 水タンクの水が不足しています。 ▶ 水タンクに水を入れ、本体に取り付けてください。	 点滅 水タンクが正しく取り付けられていません。 ▶ 水タンクを本体にしっかり取り付けてください。	 点灯 カス受けがいっぱいになっています。 ▶ コーヒーカスを捨ててください。	 点滅 カス受けが正しく取り付けられていません。 ▶ カス受けを正しい位置に取り付けてください。	 点灯 ウォーターフィルターの交換が必要です。 ▶ ウォーターフィルターを交換または取り外してください。	 点灯 石灰の除去が必要です。 ▶ 石灰の除去を行ってください。	 点灯 本体内部が汚れています。 ▶ 抽出ユニットをお手入れしてください。	 点滅 抽出ユニットが正しく取り付けられていません。 ▶ 抽出ユニットを正しく取り付けてください。
 点灯 点滅 豆ホッパーのコーヒー豆がなくなりました。 ▶ 豆ホッパーにコーヒー豆を入れてください。	 点滅 点滅 豆の挽き具合(粒度)が細かすぎて、抽出が遅いまたはされない状態です。 ▶ グライNDERノブを粗いほう(時計回り)に1目盛り回してください。	 点灯 点滅 コーヒー豆または粉の量が多すぎます。 ▶ 量を少なく調整してください。	 点灯 点滅 パウダー投入口にコーヒー粉が入っていない状態で、コーヒー粉からの抽出が選択されています。 ▶ パウダー投入口にコーヒー粉を入れ、メニューアイコンを押してください。	 点滅 点滅 コーヒー粉が細かすぎて、抽出が遅いまたはされない状態です。 ▶ エスプレッソ用の粉を使用してください。	 点滅 点滅 本体の水経路に空気が入っている状態です。 ▶ 〇を押します。		

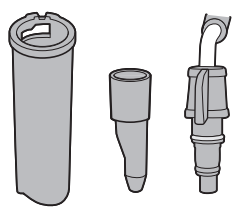
■ 一日の終わりにするお手入れ (取扱説明書26～28ページ) ■

水洗いできます 乾いたら、本体に戻してください。

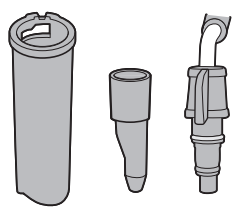


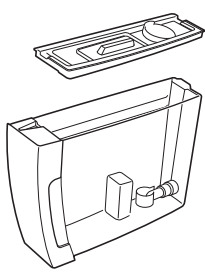
トレイ、インナートレイ、カップ受け、カス受け、水滴受け



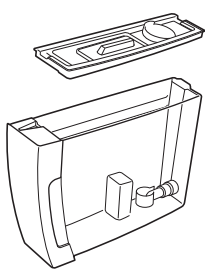


ミルクフロッター





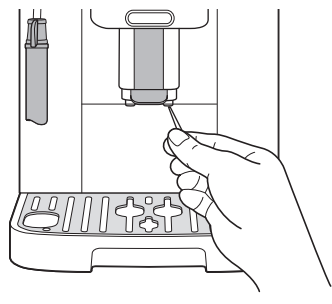
水タンク



水洗いできません

抽出口

抽出口を固く絞った濡れふきんで拭いてください。抽出口が詰まっている場合は爪楊枝などを使って取り除きます。



本体内部

本体内部のコーヒー粉は、付属のクリーニングブラシや固く絞った濡れふきんを使って取り除きます。

